

活 動 報 告

明星大学国際コミュニケーション学会

2015年2月7日(土)に明星大学国際コミュニケーション学会(Meisei University International Studies Association)、略称MUISAの第7回大会が開催されました。今年度も、細谷等主任を会長とし、岩下先生が会計を担当しました。

今年度もMUISAの開催は、「自立と体験2」という授業の一環として、企画・実行・進行を岩下と趙が担当したクラスの学生が行いました。対象は、在學生、入学前の新入生でした。参加者は、合計で確認できただけで274人でした。明星大学23号館の2階、3階の教室を会場として行いました。

午前10時から1年生による「自立と体験2」の発表が行われ、こちらは主に新入生と1年生向けでした。同時開催で、上級生向けの就職活動体験談が行われ、就職先業種がそれぞれ違う4年生6名がそれぞれ自分の就職経験を紹介し、後輩に向けてアドバイスをなされました。2年生、3年生も傾聴して、大変いい刺激を受けたのではないかと思います。

10時40分からベラルーシ学生会に参加した学生、タイに日本語教師サポートの形で留学した学生による交流報告がなされました。10時50分から12時まで、留学先がそれぞれ違う留学経験者による留学発表会が開かれました。

11時10分からは、フィールドワークの発表が6教室で同時開催されました。302教室でサマースクール、303教室でベルギー、304教室でザンジバル、305教室で中国、306教室でカンボジア、307教室でオリエンテーションキャンプの発表が行われました。

12時から13時までは昼食の時間で、13時から13時30分までは、11人の先生方のゼミ紹介が行われました。ゼミが決まったばかりの2年生と先輩学生の顔合わせ、3、4年生による研究紹介、ゼミの一年の活動内容等が紹介されました。

同時開催という形で、10時から13時半まで、3階の廊下で新入生向けの履修プランモデルケース紹介がポスター発表の形で行われました。

13時30分から15時まで、映像翻訳フィールドワーク紹介と毛利先生による国際関係のご講演がなされました。このイベントははじめての企画でした。それと同時進行で、卒業論文発表会が開かれました。1月24日(土)に開催された卒業論文発表会予選会で選出された上位3名の学生、猪原崇司さん、佐川朝紀さん、吉住々々さんの発表には、多くの在學生が参加し、熱心に聞いていました。なお、今年は参加者による投票が行われませんでした。

15時から16時15分まで、ディベートが行われました。204教室では日本語で、205教室では英語で行われました。熾烈な攻防の結果、日本語、英語両方とも肯定側が勝利しました。

今年度も昨年と同様、明星大学国際コミュニケーション学会の新たな試みとして、学生の企画・実行による学会でしたので、いくつか改善すべき点もありますが、無事に学会を終えることができました。学会運営に携わった学生の皆さんも多くのことを学ぶことができたと思います。根気よく見守ってくださった先生方や学生たちの協力で心から感謝します。

来年度に向けての改善点として次のものが挙げられます。入学前教育の一環として、新入生参加を復活させたが、見てもらうイベントのすり合わせがうまくいかなかったところが見られました。来年からは担当学生メンバーを一本化することにより改善されるかと思えます。また、在学生に対するPR活動、新入生に対する告知をもっと早めから行うなどの工夫をする必要があります。

来年のMUISAは担当教員が変わりますが、上記のような改善点を実行してより充実したものを期待したいと思います。(文責 岩下・趙)